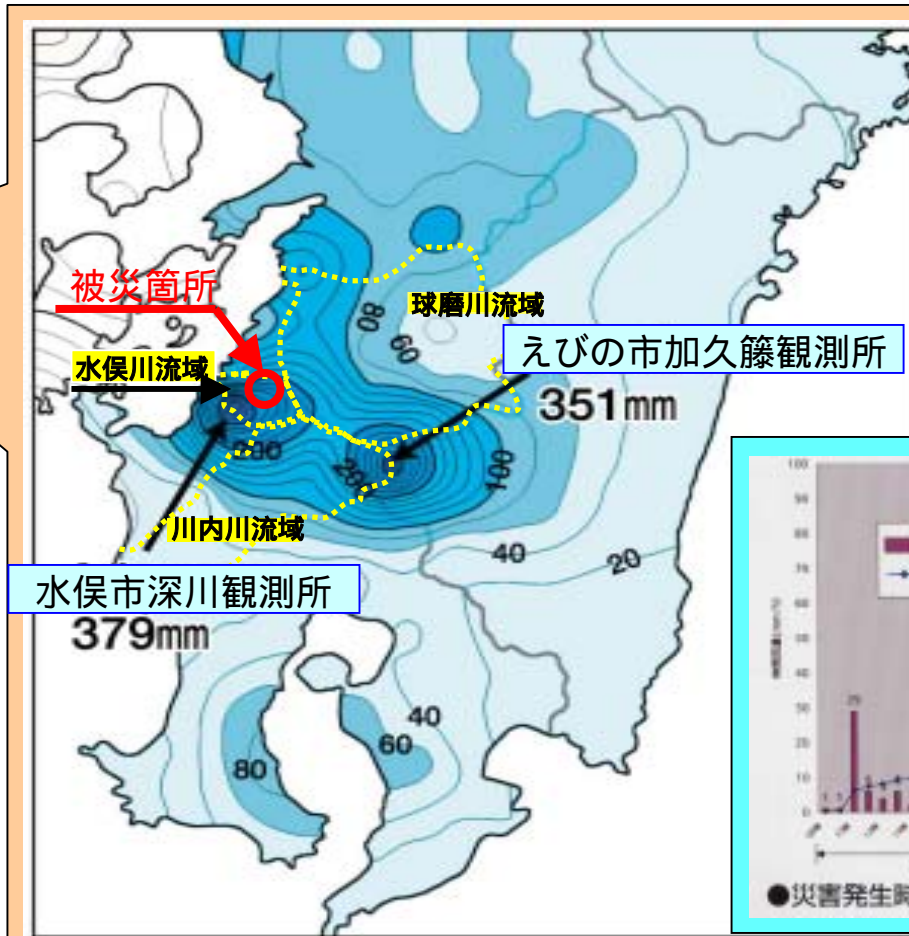


みな また し ほう がわ ち あつまり

# 水俣市宝川内集地区の災害について

# 梅雨前線により九州南部に豪雨が発生

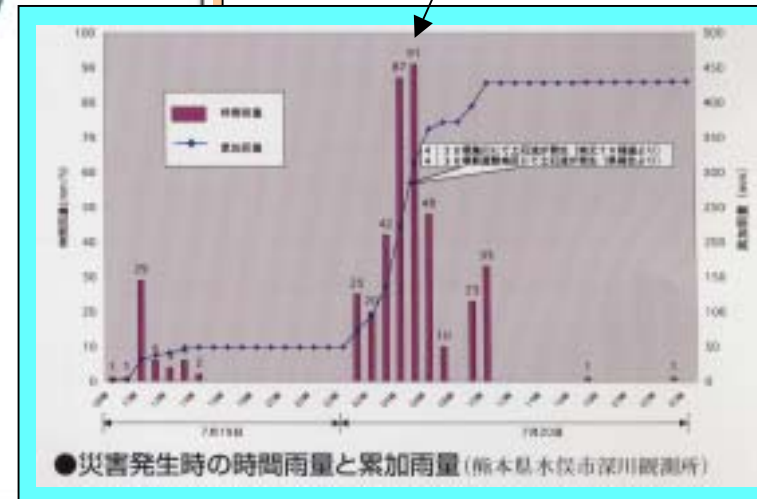
7月19日夜半から20日の明け方にかけて、梅雨前線により九州南部に豪雨が発生  
水俣市深川観測所では、24時間雨量379mm、最大時間雨量91mmの記録的豪雨となった



19日16時～20日15時の流域平均雨量

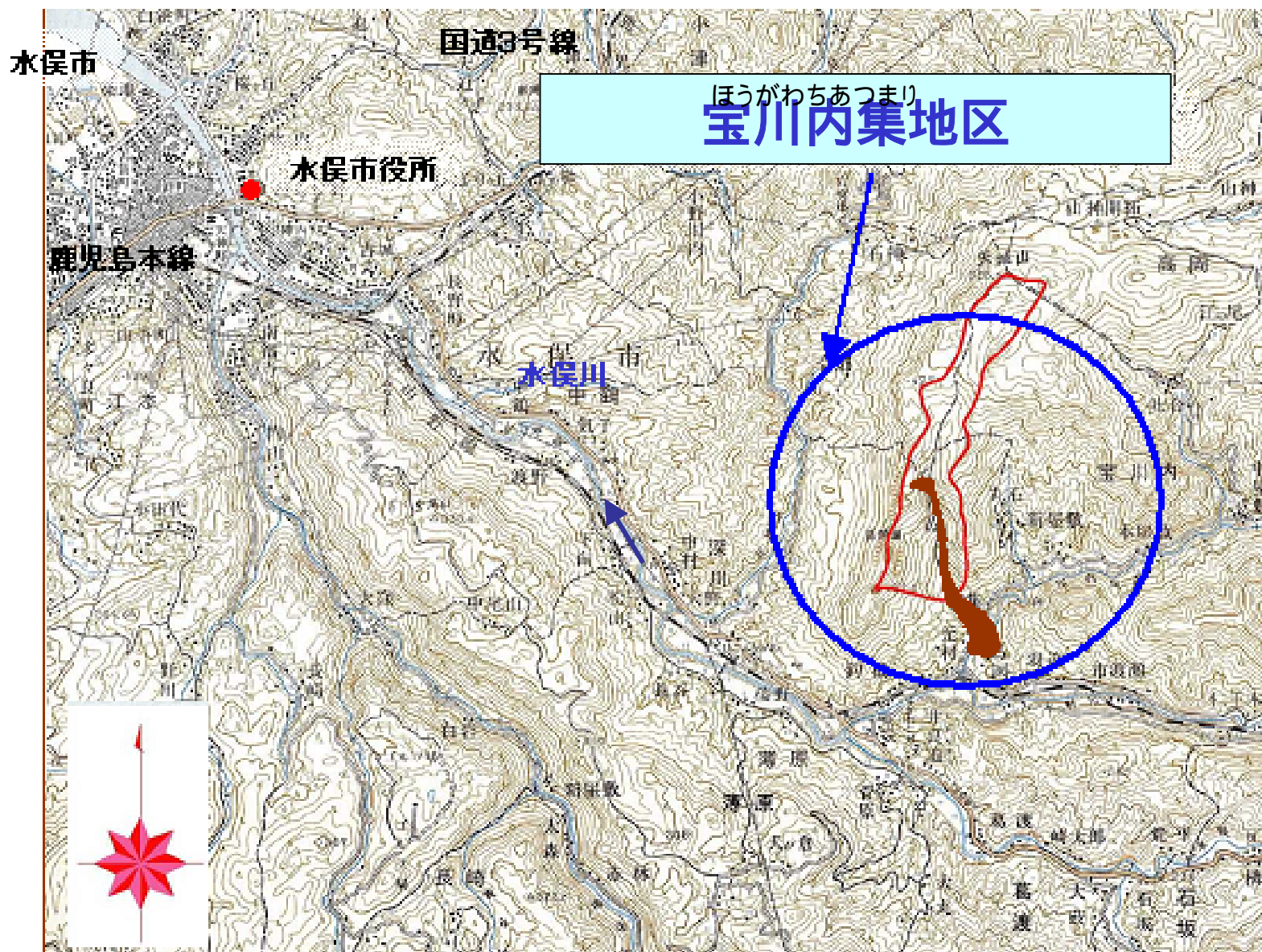
河川名	流域平均雨量
水俣川	334mm(全流域)
球磨川	78mm(人吉上流域)
川内川	234mm(栗野橋上流域)

最大時間雨量91mm



24時間雨量分布(19日16時～20日15時)

# 熊本県水俣市宝川内集地区で土砂災害が発生

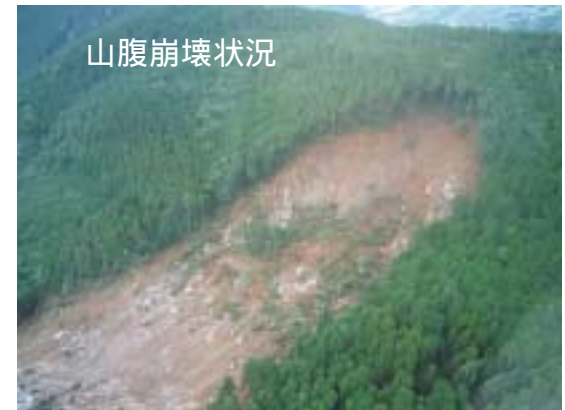




みなまたし ほう がわちあつまり

# 水俣市宝川内集地区森林崩壊状況

記録的な豪雨により、森林斜面が耐え切れず崩壊  
土石流が発生し、大量の流木が流出



(C)Asia Air Survey co.ltd

提供:アジア航測(株)

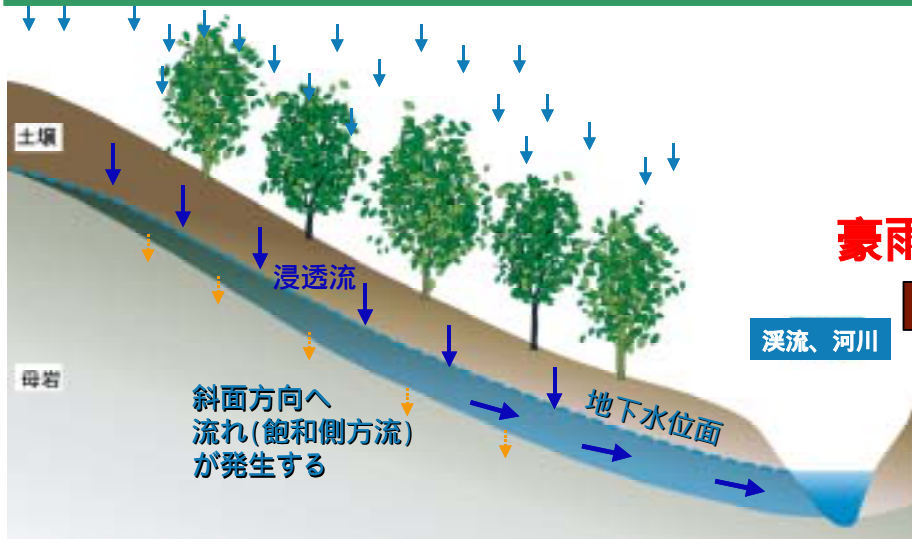
# 今回のような豪雨になると、森林斜面は崩壊し、森林の洪水緩和機能は期待できない

中小規模の降雨の場合、降った雨がいったん土壌に浸透し、遅れて川に出てくる。これが森林の洪水緩和機能。

さらに雨が降り続くと、流域は飽和状態となり降った雨のほとんどがそのまま川に出てくる。この時には、森林の洪水緩和機能は期待できない。

今回のような豪雨になると土壌がゆるみ、森林斜面が崩壊し、土石流や流木が発生する。

この時には、森林の洪水緩和機能は期待できない。このような災害を防止するためには、土石流対策や流木対策が必要である。



豪雨になると

